



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2018年3月1日

3月号・第194号

奈良・人と自然の会

会長 鈴木 未一



西池の整備

Contents

ホームページでは、**カラー**で見ることが出来ます

URL <http://www.naranature.com>



壮春力歩	1	ならやまプロジェクト	9
Monthly Repo.ならやま	2	30年度・月例研修会年間計画	10
里山の今	3・4	30年度・自然教室年間計画	11
私のふるさと	5	30年度・歴史文化クラブ年間計画	12
2月・月例研修会・報告	6	行事案内part 1	13
進路ガイダンス報告&仲間入りしました	7	行事案内part 2 & 行事予告	14
癒しの散歩道&ならやま茶論	8	幹事会報告・編集後記	15

壮春力歩

会長 鈴木 末一

心が通い合うメール通信

「ナラ枯れ」の被害が、奈良県にも発生し、ならやま里山林にも蔓延の兆しが見られ、その対策に取り組み始めたのが2011年の6月であった。

奈良県景観・自然景観課、奈良県森林整備課をはじめ、関係各機関の指導の下、里山林7haの全木調査を開始し、各種の対策に取り組んできた。その努力の甲斐があり、最小限の被害に食い止めることができたのであった。

当会がいち早く関係機関と協議し叡智を絞って対策を講じ、一定の成果を出したことを、是非とも社会的に啓発したいと、会員のYさんが取材依頼の手紙を報道機関に送られた。するとある社のうら若い女性記者が、関心を示されて取材に来られた。まだ経験年数も浅いと思われる新進の方であった。しかし、取材は謙虚で熱心、掲載された記事の内容構成も的を射たものであり、それが縁となって、何度か話題を追ってならやまへ足を運んでもらえたのであった。

2月の初め、その記者から一通のメールが届いた。当月末をもって退社するとの挨拶と、連絡先リストから自分のを削除してほしいとの要請であった。今時珍しい念入りなご挨拶である。それだけではなく、これまでの取材に答えてくれたお礼のことばとわが会員へ「がんばってください」とのエールが丁寧に綴られていた。Yさんは、「もしかして寿退社では？」と返信したという。記者から再びメールが届き、「ご推察のとおり。今後も何らかの形で文章を書いていければ・・・」とあった。

最初のメールは、私にも届き、もしかしてとは思ったのだが、事務的な返信しかなかったので、「より良きご家庭をお築きください」と、改めて「追伸」すると、やはり丁寧な返信があった。

ややもすれば、当節はよくも悪くも「一期一会」。孫の年代の記者から、お互いにほっともつとな気持ちで籠るような気配りの大切さを教えられた。

第28回コメリ緑資金助成金贈呈式

第28回コメリ緑資金助成金贈呈式が、2月8日にならやまのベースキャンプで行われた。株式会社コメリ関西地区本部ゾーンマネジャーの平原雅和氏と京都山城店店長杉田圭介氏にお越しいただき、会員70有余名の前で、平原氏から目録の贈呈を受けた。その後、ご両人を佐保自然の森などへご案内させていただいた。

コメリ緑資金助成制度は、今年で28回目を迎え、緑豊かなふるさとづくりを目的とした、里山里山などで行う自然環境の保護保全活動や整備、植樹活動などが、その対象となっている。昨年、この制度の存在をキャッチし、申請書を提出したところ、初めてであるにも関わらず、審議委員会で助成先団体に認定していただくことができた。

助成金は、単なる資金としてではなく、「志金」として受け止めたいと考えている。従って、その用途については、目的に沿ったものとし、有効活用に心掛けたいものである。

ならやまユートピア構想の中で、佐保自然の森については、生物多様性を大切に、従来生息していた生態系の復活を目指した整備に取り組む。

すなわち、花を楽しみ、蝶や昆虫を観察したり、木の実に集まる鳥など、生物が循環する里山の姿を蘇らせ守り育てていきたい。また、地域住民とのふれあいの場として、子供からシニア世代まで楽しめる憩いと癒しの空間、すなわち、「ならやまユートピア」構想の具現化を推進していきたい。



Monthly Repo. ならやま

八木 順一

1月25日(木) 活動 晴れ 57名+2

寒い。雪がちらちら舞う中での活動になったが、今朝は近畿全体が氷点下だったとか。しかし、ならやまの活動は着実に進む。打ち合わせではこの日曜日に行われたシニア自然大学校の進路ガイダンスの報告を中心に、他団体関係の講演会の紹介が主なものになる。ガイダンスは盛況だった由。また、昼にはシイタケイベントの打ち合わせが持



たれる。里山 G は楢木の作製や杉の皮むき、エコ G は野菜の収穫の他に水田の溝作り、そして景観 G は彩

の森の竹林の伐採とソバ畑へのチップ入れを行う。その他ビオ班は枯草の処理、花班は山野草園の整備、そしてパト G は観察路階段の補修と1コースを回る。

2月1日(木) 活動 雪 30名+6名

朝から雪になり、白く薄化粧した中での活動になった。しかし30名の参加者を数える。作業は午前中で終了し、解散になった。しかしこの機会を利用して、焚火の周りに腰を落ち着け、お茶を飲んだり弁当を食べながら、日頃なかなかできない会員相互の交流をじっくり行う。こういった場



ももっとあれば、と実感する。エコ G は野菜の収穫や畑のロープ張り、景観 G は実りの森の丸太の移動、そしてビオ班は池の木道の整備に取り組む。その他パ

ト G は観察路点検、果樹班はブルーベリー畑の整

備とこんにやく畑の土の寒晒しを行う。いずれにしても少ない人数ゆえにできる作業も限定された。シニア生5名、見学者1名。

2月8日(木) 活動 晴れ 71名+3名

日差しも強くなり、いよいよならやまにも春が来た実感する。今日は朝から協働作業とアダプトプログラムの取り組みが行われ、忙しい活動日になった。特に協働作業はデッドラインも近くなり、たくさんの参加者が活動し、本当に美しくなる。また、昼食後にはコメリから役員が2名来訪され、助成金贈呈式が行われる。その他ミーティングを実施した G もあった。新入会員1名、シニア生1名。里山 G はイベント植樹準備、エコ G



はハウス作りや野菜の収穫を、そして景観 G は竹林の整備を行う。また、ビオ班は西池の水抜き、花班は山野草園の整備を、そしてパト G は1コース巡回と

2月15日(木) 活動 曇り 65名

曇りながらも気温も高く、活動が進む。いよいよ春だ。打ち合わせでは、シイタケイベントの説明会実施の件や交通費補助の支給などの説明が行われる。里山 G はイベントの準備として遊具の準備を中心に、エコ G は野菜の収穫の他ビニールハウスの仕上げ、そして景観 G はチップパーを使って竹林の処理などに目いっぱい頑張る。その他ビオ班は西池の排水溝の整備、花班はアジサイ園の草取りなど、



またパト G は観察路の補修と4コースを回る。里山 G を中心に進められたイベントの準備も順調に進み、あとは当日の好天が望まれるだけだ。

里山グループ

伊良子 和夫

◆記念樹順調に育つ

昨年3月に創立15周年を記念して植樹されたメタセコイア、ラクウショウ、イチヨウそれぞれ2本は活着し、春には芽吹きし、葉を茂らせ、秋には紅葉(黄葉)し落葉しました。今は冬芽を蓄えて芽吹きを待っています。

ところで、メタセコイアとラクウショウはよく似ているのですが、葉の付き方がメタセコイアは対生、ラクウショウは互生の違いで見分けられます。しかし、どちらが対生で互生かすぐ忘れるので、私はメタセコイアから「メタイセイコイア」としてメタセコイアは対生と覚えました。

サワラとヒノキもよく似ているのですが、葉の裏にある気孔線という白い線が、サワラはX型、ヒノキはY型になっています。覚え方は、五十音の「ア・カ・サ・タ・ナ・ハ・・・」の順と、アルファベットの「X・Y・Z」の順を組み合わせます。つまり、五十音で先に出てくるサ行の「サワラはX」、ハ行の「ヒノキはY」と覚えるのですが、覚え方を覚えるのが難しそうですね。

「タテムクヨコエノキ」 何かの呪文のようですが、これはムクノキの皮目が縦で、エノキの皮目が横という覚え方です。

次はコナラとミズナラの違いのジョークです。この話は「渡辺先生と行く芦生の森研修ツアー」での話です。ミズナラの前で

W先生 「葉柄のないのは。」

参加者 「ミズナラ。」

W先生 「葉柄のあるのは。」

参加者 「コナラ。」

W先生 「くさいのは。」

参加者 「・・・？」

W先生 「オナラ。」

渡辺先生は案内の途中でこのような話を挟まれ、ツアーはとても楽しいものになります。

春になったら、メタセコイアとラクウショウを見比べてその違いを確認してください。



エコファームグループ

西出 勉

◆古都の保存と自然的環境の保護

私たちの活動場所は「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法(古都保存法)」に基づき保存されている。

同様に保存されているところは、鎌倉市、逗子市、京都市、大津市、天理市、桜井市、橿原市、斑鳩町、明日香村、そして、奈良市の10市町村。その奈良市域には、春日山地区(春日大社、春日山原始林、若草山、東大寺、興福寺)、西ノ京地区(唐招提寺、薬師寺)、平城宮跡地区(平城宮跡、聖武天皇陵)がある。

また、歴史的風土とは、わが国の歴史上、意義を有する建造物、遺跡などが、周囲の自然的環境と一体をなして古都における伝統と文化を具現し、及び形成している土地の状況と定められており、歴史的な建造物や遺跡と、それらを取りまく樹林地などの自然的環境が、一体となって古都らしさを醸し出している土地の状況をいう。私たちが活動させていただいているエリアは、その平城宮跡地区である。

私が、奈良・人と自然の会に入会させていただき、活動の初日に樹林地をパトロールしたおりに、何々の丘(名称は忘れました。)の上から眺め、パトロールに同行してくださった先輩が、その丘から遠い彼方に見える建物は何か分かりますかと尋ねられ、私は、ふむ?と考へ、大極殿とちがいますかと答えると、そうですとの答え。そう、私たちの活動の場所から、平城宮跡にある第一次大極殿の屋根を見ることができたことは、私なりに少し感動した。その後、樹林地を歩く機会は少なく、マツタケをつくるための協働作業の時ぐらいですが、古都を保存するにあたり、その樹林地は大変重要な要素である。

これからも活動していくにあたり、興味の範囲を樹林の形成をなすいろいろな木々、植物に目を向け、古都の保存について考えたく思う今日この頃です。

景観グループ

中川 瑛雄



鳥シリーズ

小田 久美子

私はならやまに通い始めて、今年で6年目になります。私は大阪市内で生まれ、育ち、ふるさと、という語源からイメージする、「ふるさと」はありません。シニア自然大学校を卒業して、ならやまへ来る機会を得て、本当に良かったと思っています。ならやまに来て、里山、景観、エコファーム、パトロールと一通り体験しましたが、大した知識もない私が、自然の中で体を動かす事は気持ちがいけれど、ここで自分が継続してできることはあるのだろうか、と考えているうちに、自然に景観グループに入っていました。当時、今の実りの森（第五地区）は松林の森で、周りは笹で覆い尽くされ、刈っても刈っても笹は少しずつ減るだけで、ここが畑になるのはいつやるか、と思いながら作業していました。木も伐採され、笹もチップにされ、開拓された実りの森を見ていると、あの森がこんなになったんだ、と思いながら作業をしています。

2年目の夏、彩の森でポンプを使って水やりをしていましたが、あと少しで全部に水をやれると頑張っって水をやっているうち、気が付けば周りに誰もいなくて、体はだるくなっており、座り込んでしまいました。頑張っって基地まで戻りましたが、ほとんど人がいません。残っている人から水をもらい、平城山駅まで歩きましたが、その遠いこと。ところが駅で水を補給して、クーラーの効いた電車に乗り、長居駅に着き歩き始めると、さっきまで感じていただるさは何だったのか、と思うくらい体が軽い。熱中症だったんだらうと思いましたが。去年の夏、作業を終え電車に乗って帰りましたが、降りる頃体がものすごくだるくなり、家までの道のりの遠く感じたこと。翌日起き上がることもできませんでした。前の日まで元気だったのが、一日にして起き上がる事も出来なくなるという経験をしました。結局は熱中症でしたが、この先できるだけ長く通えるように、気を付けて作業したいと思っています。

◆「雲鳥（ヒバリ）」の苦勞と対策 富士山へ

オスは字の如く、鳴き乍ら 110m 程の高さまで舞い上がり、20 分程ホバリングして、縄張り宣言(直径 50m 程)



(ヒバリペアY・田中撮影)

と侵入者の見張りをします。どれだけ高く飛べるかは雌へのアピールポイントでもあります。体長は 17 cm、昆虫・植物を食べます。10 年程前から富士山で、十数羽が確認され観察が続けられています。1600m~2100m のスゲなどの低い植物の陰に巣を作ります。開けた草原が広がり、下からの上昇気流で小さな昆虫たちが吹き上げてくるという利点がある一方で、毎日霧が大発生して一日の中での気温差が大きい環境です。昨年のように早い台風が吹き荒れる中では、雨風で親鳥がびっしょり濡れながら一日中雛たちを抱いて過ごします。餌獲りに飛んでも強風で自分自身も吹き飛ばされたりと、大変な環境をわざわざ選ぶのにはどんな理由が考えられるのでしょうか。♪ピーク パーク イが 伏トソ♪ という歌があり、昔から身近なヒバリでしたが、最近住宅開発などで田畑が減り、草地も刈り込まれて住む場所が激減しています。富士山は天敵が少ないのも魅力の一つなのでしょう。北海道の大雪山や浅間山でも確認されていて、野生の強さに感心します。春、ヒバリが鳴いていたら見上げて下さい。皆さんが思うより高い所で鳴いています。

「聞きなし」は、「日一分 日一分 利取る 利取る 月二朱 月二朱」ヒバリは高利貸しで、お日様にお金を貸しましたが、お日様は返すことなくいつも雲に隠れてしまうのです。困ったヒバリは「返さないと利息が高くなるぞ」と鳴くのです。天平勝宝 5(753)年 2 月 25 日(太陽暦 4/3)

大伴家持「春愁三首」の中の一首

「うらうらに 照れる春日に ひばり上がり
心悲しも ひとりし思へば」

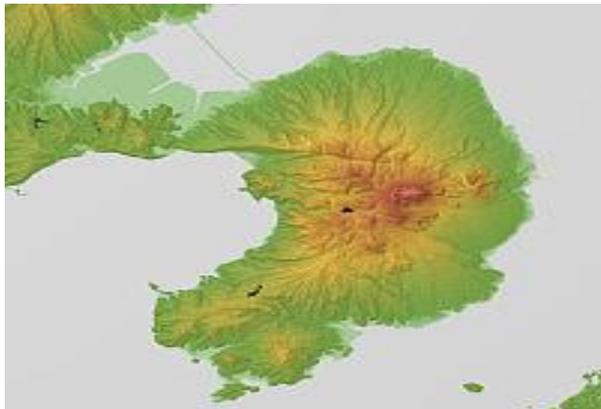
名門豪族 家持の心情溢れる名歌です

私のふるさと



太田 和則

長崎市の南東約 60km に位置し、島原半島の南にあたる一帯が私の育った故郷、南島原市である。



人間の胃袋に似ている。この市は 2006 年に 8 町を統合し生まれた。半島の中央部に雲仙を配し、ここからは遠く熊本の阿蘇山、稀ではあるが鹿児島島の桜島をも見ることができる。

周囲は有明海と橘湾に囲まれ、有明海を隔てて天草の島々を見ることができる。この街には史跡で島原の乱の舞台になった原城がある。1637 年にキリシタン一揆が起き、半島のほとんどの民が犠牲となった。その数 30,000 人と言われ当時としては凄惨な数字である。現在の南島原市の総人口が 44,700 人と比べても驚く数字だ。

名産としては、数年前に三輪素麺の生産地偽称と騒がれた島原素麺がある。おかげで有名になり、知名度を上げるのに役立った。皮肉である。

いつまでも残る記憶は、小学生の頃のこと。自宅の目の前が 10 秒で白い砂浜、学校から帰るととりあえず海に飛び込んだのを思い出す。いつも真っ黒。有明海は当時貧しかった食卓をも補ってくれ、遊びも単なる海水浴ではなく、魚を突き、サザエ、ハマグリなどあらゆる獲物を恵んでくれた。

今思えば当時の地域住民を助けた一番の功労者であろう。山もすぐそば。ヤマモモやグミやアケビ採りと、よく遊び飛び回ったな～。そんな故郷だった。

大した紹介もできなかったが、島原半島ぐると散策すれば結構いろいろと名所がある。一部紹介。



島原市の島原城



雲仙の平成新山（初めて火砕流を知る）



加津佐海水浴場（砂がとてもきめ細やか）



島原市街地を流れる湧き水（鯉の泳ぐ、水路の水は当時は飲めた）

そんな思い出のふるさとですが、2016 年秋に全てをたたみ 100%の奈良市住民となりました。

“これからも宜しく願っています。”

2月・月例研修会・下ツ道を歩く

下村 晴文

下ツ道は、7世紀後半には整備されていたことが日本書紀にも書かれていましたが、最近の発掘調査で道幅23m、側溝まで含めると幅29mにもなる道路の跡が発見され、その存在が証明されました。現在では、橿原市見瀬丸山古墳あたりから藤原京を通り、平城京羅城門、朱雀大路へと続く古道が再現されています。今回は、近鉄二階堂駅から稗田環濠集落を通り、羅城門跡、近鉄九条駅まで約8kmの古道を楽しみました。

平成30年2月13日9時50分：近鉄二階堂駅に会員18名、観光案内ボランティア1名の総勢19名の参加者が集合しました。まず、リーダーの富井さんの挨拶とコース説明の後、ボランティアの井浜（いたに）靖子さんの紹介がありました。井浜さんの先導で、下ツ道を南へ下り膳夫寺跡（かしわでてらあと）を目指しました。

10時7分：膳夫寺跡に到着。聖徳太子の妃、膳夫姫に因み、この地に寺が造営されました。寺の姿が二階造りに似ていたことから、この辺りを二階堂と呼ぶようになったそうです。今は、跡地に地蔵堂が建てられ、中に天正九年銘のある石造半跏地蔵菩薩がお祀りされています。

10時35分：菅田（すがた）神社鳥居前に到着。神社は、古代製鉄の神・雨目一個神（あめのまひとのかみ）を祀る神社ですが、本殿は鳥居からはるかかなたの遠くにあります。鳥居だけがここまで出張ってきているのです。このことから、井浜さんは、地元の方は、すぐにでしゃばる人のことを「菅田神社の鳥居のような人」と言うとのこと、ならやまでも、「菅田神社の鳥居のような人」と言われないように気を付けたいものです。

10時45分：嫁取り橋到着。下ツ道をさらに北へと進み大和郡山ジャンクションの下を通り、珊瑚珠（さんごじゅ）川に出ました。昔、失恋で身投げした娘の霊が大蛇になり、花嫁がここを通ると大雨を降らせて花嫁を淵に引きずり込んだそうです。それで川に架かる橋を嫁取り橋というよう



になったそうです。女の嫉妬は怖いですね。

11時22分：番条環濠集落到着。整備された稗田環濠集落が有名ですが、ここでは環濠が昔のままの姿で残されています。環濠内には、大きな屋敷があり、当時の勢力が偲べれます。

11時35分：番条環濠内にある中谷酒造に到着。井浜さんから、ここで試飲しながら昼食にしたらという提案があり、当初は賈太（めた）神社の境内で昼食の予定でしたが、「試飲しながら」という言葉でころりと計画を変えました。何という柔軟性でしょうか。社長から、創業が嘉永年間に始まること、正暦寺で始まった酒造りが番条氏に受け継がれ、大和川の水運を利用して大坂へ運ばれるようになり発展したことなどの話をしてもらいました。因みに麴菌による清酒造りは大和正暦寺が最初で、灘が酒造り発祥の地と言っているのは、濁りを炭で除去した製法で次元の違う話であるところりと自慢？をのぞかせていました。試飲4本をペロリ、16本お買い上げで出発。

13時5分：賈太神社到着。稗田環濠集落の中にあり、古事記の伝承者である稗田阿礼（ひえだのあれ）をお祀りしています。ここでも官司の奥様に詳しく説明をしていただきました。

14時15分：羅城門跡到着。門跡は、道路の下になっていますが、道路からは遠く朱雀門を見ることができました。京外に住んでいた下級官僚は、ここから平城宮まで約4km、毎日通勤していたかと思うと、いつの時代も宮仕えは大変です。

15時18分：近鉄九条駅到着。途中最古の貨幣、富文銭（ふもんせん）出土地、秋篠川の船着き場、平城京西市跡などを見ながら、無事に駅に到着。お疲れ様でした。

進路ガイダンス・報告

羽尻 嵩

1月21日(日)午後1時より、鶴見緑地花博記念ホールにて、3月末にシニア自然大学校を修了する聴講生向けに「進路ガイダンス」があり、会からは7名が出席した。

今回の出店ブースは36あり、例年のことながら我々のブースは、ホールの講堂の真正面の一角に位置しており、午前11時半から、我々の活動を紹介した写真の展示やパソコンの設置などの準備にかかった。

午後1時半から、ブースに来られた方々に私たちの活動について紹介し、入会を勧誘し、入会したい、入会してみようかなという方に名前を書いていた。



結果19名の方に名前を書いていた。大半が本会に実習に来た方で、奈良市在住が2名、香芝市1名、大阪府の奈良市に比較的近い方が5～6名だった。

最終的に入会希望者は、自然大学校で2月14日に集約して、その後、本会に連絡が来ることになっている。

「奈良・人と自然の会」の今年のブースの特徴は、4月に入会した4名の方がガイダンスに積極的に参加してくれたことです。そのことによって、パソコンで初めてDVDの放映ができ、来られた方に会の活動が視覚と聴覚を通じて紹介することができました。

皆さんありがとうございました。

仲間入りしました

姫野 達也 (ひめの たつや)

お世話になります。本年1月よりお仲間入りさせていただきました、姫野です。大阪・和泉市から約2時間かけて来ております。小学生時の5年間を奈良市内中山町で過ごしたことが、奈良とその自然に対する愛着を持った契機になりました。

また、この平城山周辺は、15年前に娘と自転車道をサイクリングで通ったのが最初で、その時に小学生時代に見た奈良の風景の名残を感じ、良い場所だなどずっと思っていました。

年末に「奈良・人と自然の会」のホームページを見つけ、この里山保全のボランティアにぜひ参加したいと考えた次第です。里山に関する様々なことを少しずつ覚え、習得してお役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



藤原 勲 (ふじわら いさお)

1月に入会させていただきました藤原です。私は山登りや、地図を片手に大和路の名所や史蹟を巡るのが好きでよく歩いていました。自然に触れあうのも楽しそうで興味はありましたが、今まで土いじりをしたり、花や作物を育てたりした経験はありません。

この度、山本さんからこの会のことをお聞きし、できるかどうか不安はありましたが、チャレンジするつもりで入会の申し込みをしました。

入会した初日にパトロールについて行き、山があり、竹林や雑木林が広がり、池や畑や水田が続く、果樹園もありと、まさに日本の原風景のような里山に早くも魅せられてしまいました。

作物を育てるため、勉強して、準備し、世話をし、汗をかき、失敗し、苦労し、少しでも収穫の



喜びと楽しさを味わうことができれば最高です。

皆様どうぞよろしくお願いいたします。

ならやま茶論

「最終火曜日」

竹本 雅昭

机：これから 2~3 時間の会議、ご苦労さんです。いつもならどうされてるんです？

翁：ソファーで昼寝だな。そこで相談だが、もしもコックリするようだったらゆり起こしてくれよ。

机：ガッテン、ガッテン。

翁：テレビの見過ぎだな。隣の人迷惑にならんよう、ソッと頼むな。

机：旦那、旦那。

翁：なんや。

机：ほれ、皆さん挙手したはりますよ。

翁：エッ！何のことやろ、あんた知らんか？

机：私も釣られてポーとしてましたわ。早よ旦那も手を挙げといたら？

翁：うんそうやな、取りあえずそうしとこか。もう 3 時過ぎたな。いつもやったらコーヒータイムや。カスタードやクッキーで目元ぱっちりなのにな。

机：うらやましいことどすな。

翁：オイ！ちょっと黙っててくれよ。会計報告中やが、資料が多くて、今どの部分と話されてるのかさっぱりわからん。難儀しますわ。

机：もうすぐ終わりのようですが、旦那は今日何か意見はないんですか。

翁：ないない何も。あんたの誘いに乗ったら大恥かゝんならんわ。さあ終わった、帰ろう。机君よ又な。

机：・・・・・・・・。

翁：ウン！わしの幻覚やったか・・・・・・・・。

～終～



癒しの散歩道

春ですネ。



どこかで春が

谷川 萬太郎

1. どこかで春が泣いている

流れる川の水も冷やかに

凍てつく木立は冬ごもり

どこかで冬が笑ってる

吐く息白く手指は凍え

花の蕾も固い土の中でもがき

春を待ちわびて

2. どこかで春が呼んでいる

海山が冬空に痺れを切らし

季節の儂さ我が心知らず

いずこに春は待っている

照らせよ我が胸に暖かく

渚の波飛沫に見え隠れして

春を待ち焦がれて



ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず

活動予定日

3月	1 (木) 8 (木) 15 (木) 22 (木) 29 (木)
4月	5 (木) 12 (木) 19 (木) 26 (木)

◆場所：奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約 16 haの里山林地（県有林）

◆集合：現地ベースキャンプ地・午前9時

◆終了予定：午後3時

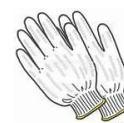
◆アクセス

- ① JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩 10分
 - ② 近鉄奈良駅：バス 13番乗り場 115系統
8：28発、高の原行き（平日）
 - ③ 近鉄高の原駅：バス 1番乗り場 115系統
8：36発 JR奈良駅西口行き（平日）
- ②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車
徒歩 7分

◆携行品など：弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地で用意）



◆環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参ください。



◆連絡先：八木 順一

里山

3/1 「協働作業」松林の土掻き・アダプトプログラム
シイタケ植菌・仮置き／薪割り・薪材の運搬
チップ作業

8 シイタケ植菌・仮置き／薪棚作成／薪割り・薪材の運搬

15 薪棚作成／枯死木の伐倒／薪割り・薪材の運搬

22 **29** BCのテント屋根作成／枯死木の伐倒／薪割り・薪材の運搬

エコファーム

3/1 「協働作業」松林の土掻き・アダプトプログラム
ジャガイモ、葉菜類畝作り／ゴボウ、ネギ、ニンジン畝作り

8 茄子、唐辛子類の苗床に播種／ホウレン草、春菊、葉菜類の播種／ジャガイモ植え付け

15 カボチャ、トマト、ズッキーニ、スイカ、苗床に播種／ゴボウ（滝野川）

ネギ（九条、下仁田）ニンジン播種

22 サツマイモ、里芋予定畑準備／（チップ入れ）

29 茄子、唐辛子類の植替え／（鉢上げ）
エンドウ追肥



景観

3/1 「協働作業」松林の土掻き・アダプトプログラム
整備：彩の森整備（竹、枯れ木等）

ビオ：池、湿地整備

花：名札立て、草取り、アガパンサス敷藁撤去

8 整備：3/1に同じ／ビオ：池、湿地整備

花：レンゲ園の草取り、施肥、花生姜園草取り施肥

15 整備：3/1に同じ／ビオ：池、湿地整備

花：ナデシコ移植、七草園、山野草園施肥整備

22 整備：実りの森竹林堆肥散布

ビオ：池、湿地整備

花：ドイツアヤメ園草取り、秋明菊園草取り整備

29 整備：実りの森竹林堆肥散布

ビオ：池、湿地整備

花：キンセンカ種まき、葉牡丹、チューリップ施肥草取り

パトロール

3/1 「協働作業」松林の土掻き・アダプトプログラム
観察路の草刈り整備、保護ロープ張り

8 観察路の倒木片付け

15 手摺ロープの張り替え

22 丸太階段補修

29 植物の保護ロープ張り

平成30年度月例研修会計画

月例研修会担当 富井 忠雄

平成30年度については、奈良（大和）の自然・歴史・文化の探求を目的にまず大和の古道・旧跡を歩き探訪したいと思います。

その中で自然（樹木・山野草・野鳥など）に触れあったり・寺社仏閣を見識したり、その地域での歴史・文化を見学・発見をしたいと思っています。

月	日	曜日	概要	主要行先	例会担当者
H30					
4	16	月	曾爾高原・屏風岩 (花見・バス)	曾爾高原・屏風岩・兜岳・ 鎧岳・俱留尊山・伊勢本街道	◎中井・太田・富井
6	5	火	葛城古道	高嶋神社・高天彦神社・ 一言主神社・中村家	◎下村・桜木・富井
8	7	火	{ 夏季研修会 } 大台ヶ原散策 (バス)	大台ヶ原・西大台散策	◎中井・永井・富井
10	1~2	月~ 火	{ 一泊研修旅行 } (バス)	飛騨古川・乗鞍岳・平湯温泉 白川郷・白山ホワイトロード	◎小島・鈴木・青木 中井・富井
11	20	火	龍王山	龍王山・長岳寺・山の辺の道	◎羽尻・竹本・富井
H31					
2	11	月	安堵町から廣瀬神社	飽波神社・うぶすなの郷・ 極楽寺・広瀬神社・太子道	◎富井・岡崎・青木
3					

※ 4月マイクロバス・8月・10月はサロンカー使用（鈴木会長）

※ 各月の下見・本番・資料・アルバム作成：例会担当者（3名～5名）

※ 各月のアルバム・広報：青木幸子

◎印は、各例会の担当責任者です。

※ 諸般の事情により、実施日、行先等を変更する場合があります。 担当（富井・中井・青木）

平成30年度 自然教室チーム 活動計画

自然教室担当 辻本 信一

酷暑、極寒の7月、12月、1月、2月の観察会は中止いたします。

9月の観察会は、「お楽しみ」とさせていただきます、詳細は3ヶ月スケジュール発表時に合わせて紹介させていただきます。

その他、四季折々の話題提供となるオプション観察会を随時企画いたしますので、ご期待ください。

月	日	曜日	自然観察会・学校支援
H30			
4	3	火	春の奈良公園 桜見物
5	14	月	新緑のならやま 自然観察会
6	未定		育英小学校：出前教室
6	6	水	佐保台小学校：放課後子供教室
6	18	月	初夏の奈良公園 自然観察
8	20	月	平城京 燕の埒入り観察
9	5	水	佐保台小学校：昆虫観察会
9	10	月	「お楽しみ」自然観察会
10	15	月	秋のならやま自然観察会
11	26	月	秋の奈良公園 紅葉狩り
H31			
3	4	月	早春のならやま 自然観察会

平成30年度歴史文化クラブ研修会計画

統一テーマ「時代の渚を歩く V」

代表 古川 祐司

月	日	曜日	テーマ	内容	担当世話人 ()はサブ
H30					
4	10	火	東漢氏と蘇我氏	(オプション) 29年11月のリターンマッチ	坂東
5	22-23	火・水	古代吉備王国	吉備王国とヤマト王権	吉備委員会：坂東、鈴木、中井、杉本、弓場、西谷、青木、塩本、古川
7	10	火	比叡山延暦寺	最澄と南都仏教(仮題)	八木、羽尻、
9	11	火	壬申の乱II	大海人皇子と伊勢・尾張	藤田、塩本、中井
11	6	火	葛城氏II	葛城山麓の史跡再発見	中井、森、西谷、田積
12	4	火	地元史と座学	外部講師、地元史家	永井、鈴木、田代
H31					
1	15	火	三輪山の初登拝	檜原神社からの三輪山登拝	中井、富井、弓場
3	未定		万葉ロマン	山の辺の道 中北部の歌碑巡り	杉本

オプション行事

未定	歴史ビデオ、研究機関の講演会など	檀考研、奈文研、各市町村教育委員会からピックアップ	西谷、青木、田代、田積、
----	------------------	---------------------------	--------------

30年度の世話人体制	
常任世話人	古川(代表)、鈴木、中井、西谷、青木(幸)、杉本、塩本、永井、坂東、弓場
世話人	藤田、富井、森、羽尻、八木、田積彰男(新)、田代一行(新)
事務局G	中井(チーフ)、青木(会計担当)、塩本、(坂東)
旅行企画	鈴木

行事案内 part 1



3月・歴史文化クラブ研修会ご案内 早春の龍田古道を歩く

昔、奈良と難波を結ぶ官道であった龍田道を万葉の歌碑を巡りながら歩きます。龍田山はかつて桜の名所で、ここを通った万葉歌人たちが桜を愛でた多くの歌が残っていて、道沿いには鏡王女、大伴家持、高橋虫麿などの歌碑があります。

龍田道は山越えの上ツ道、中ツ道と大和川沿いの下ツ道の3つありました。今回は聖武天皇も通られた下ツ道を行きます。

またこの辺りには、日本有数の亀の瀬地滑り地帯があり、「資料室」で説明を受け、昭和初期に地滑りで埋まった関西線のトンネルを見学します。

**我が行きは 七日は過ぎじ 龍田彦
ゆめこの花を 風にな散らし** 高橋虫麿

《実施要領》

日時：3月13日(火) 10:00 集合

場所：JR大和路線三郷駅

行程：三郷駅 10:00→龍田大社→神奈備神社→
万葉歌碑→磐瀬の杜→峠八幡神社→亀の
瀬地滑り資料館→河内堅上駅(解散)
全行程約7km 道はほぼ平坦です。

持物：弁当、飲み物、

担当：杉本 登

(降水確率60%以上の場合は中止)

申込・照会：歴文事務局 古川祐司まで



鏡王女の歌碑

高橋虫麿の歌碑

自然教室チームだより 3月行事案内 春のならやま自然観察会

3月を迎え植物観察の時節到来となりました。自然教室チームでは、私たちのホームグラウンドである「ならやま」の里地・里山において、四季折々の植物観察を企画しております。

1月、2月の極寒の時期は観察会を中止しましたので、来る3月6日(火)は、今年第1回目の植物観察会、自然観察会、となります。

去年は、暖かい日差しの中、10名の方に参加して頂き、ベースキャンプ周辺の野草を中心に観察会を実施。40種以上の可愛い草花と出会うことができました。



【去年の観察会の模様】

今年1月の新春講演会では、講師の菅井先生より「自然を観察することは命の営みを見ること」と言うお言葉をいただきました。

私たちの自然観察会も決して植物の名前を覚えるだけの観察会ではありません。時に可憐に、時に逞しく、健気に生きる植物の姿から、生きることの感動を見いだせればと思っています。

春の好日、みんなでならやまの春を楽しみましょう。皆さまのお越しをお待ちしております。

記

- 日時：3月6日(火)
午前10時～午後3時(予定)
- 集合：ならやまベースキャンプ
- 持ち物：弁当、お飲み物、(あれば)ルーペ、図鑑
- 観察スタイル：
ならやまに咲く身近な植物をじっくりと観察。自然の逞しさ、美しさ、素晴らしさを体感(実感)していただきます。
- 担当：自然教室チーム

(桜木・山本(美)・辻本)



行事案内 Part 2

新会員大歓迎会

昨年4月から、今年3月までに入会された方々を改めてご紹介し、今日までの結束で積み上げてきた「奈良・人と自然の会」の全会員が、心を込めて新戦力を歓迎する恒例行事です。新会員と共に会の趣旨の一層の理解を深め、懇親をはかることによって、円滑な活動と発展を期待して設けられてきました。

習わしによって昨年度歓迎を受けたものが、今回はお世話役をさせていただきます。けれども1年そこそこで全てを知り尽くしているわけでもなく、不慣れな上、人数も少ないので先輩諸氏の骨身惜しまぬご協力・ご支援を得て盛大な会にしたいと思っております。新会員の方ご期待下さい。

〈実施要項〉

- ◆ 日時：平成30年3月22日(木)
(雨天→3月29日)
午前9時 受付開始/12:00~14:00 懇親会
- ◆ 場所：ならやまベースキャンプ
- ◆ 会費：500円(新会員は無料です)
- ◆ メニュー：バーベキュー・焼きそば
おでん・手打ち蕎麦など。(お皿・お箸などお忘れなく/足りない方はおにぎりを)。

※アルコールが出ますので電車バスなどでお越し下さい。



佐保川わいわい桜まつり

- ◆ 3月31日(土)予備日4月1日(日)
- ◆ 模擬店・イベント：AM10:00~PM15:00頃
- ◆ 奈良市内中心部を流れる佐保川沿いは、ソメイヨシノ約1,000本が咲き誇る桜の名所です。佐保川小学校(近鉄新大宮駅北東500m)の運動場や水辺の楽校では、各種の模擬店やイベントが催され、地域の一人として今年も模擬店に参加します。
- ◆ 夜桜のライトアップ「佐保川桜まつり燈火会」では、水面に桜が映り、とても幻想的です。



鈴木末一さま作 おひなさま

4月ならやま活動&行事予告

- *ならやま活動 (木)
4月5日 協働作業の日
- *自然教室
4月3日(火) 春の奈良公園 桜見物
- *月例研修会
4月16日(月) お花見日帰りバス旅行
曾爾高原・屏風岩公苑

平成30年・2月度幹事会報告

日時：1月30日(火) 14:00~16:00

場所：奈良市中部公民館 3F 視聴覚室

出席者：21名 欠席者：2名

I 会長挨拶：

・年度末で、今期取り纏めと来期の構想に着手

II 事務局・会計報告

- ① 会員数：152名(新人加入2名)
- ② 会計報告：12月度収支報告、予算執行状況
- ③ その他：2月初旬に、交通費の支給実施
3月末に来期会費の徴収実施

5/19 30年度通常総会(はぐくみセンター)

III 活動・行事関係、課題・懸案・確認事項

- 1. 3か月及び当月スケジュールの検討と確認
 - ・4/22：アースデイは中止(別の行事を企画)
- 2. ならやまプロジェクト関係：配布資料説明
 - ・活動予定資料の確認(HPに掲載)
- 3. 30年度グループ別予算要求(29年度予算執行見込み)：取り纏め資料配付
- 4. 活動報告と予告
 - ① 月例研修会 2/13 下ツ道(予定)
 - ② 歴文研修 1/9 三輪山登拝(参加27名)
- 5. 行事(報告と予告)：詳細は会報誌掲載
 - ① 1/11 初出式、記念植樹
 - ② 1/13 新春講演会(参加58名)
 - ③ 1/21 シニア自然大学校・進路ガイダンス
 - ④ 2/24 シイタケイベント：平田&里山G
 - ⑤ 3/22 新人歓迎会(小島武雄、青木幸子、辻本信一、岡崎節子、永井幸次)

5. 助成金・交付金事業進捗状況説明

各助成先への報告など取り纏め

IV 広報関係：会報誌3月号編成案承認

V 企画会議：2月中旬に予定

今期決算と来期予算、
次年度に向けた諸課題について協議
構成メンバー：三役、グループリーダー

V 懸案事項：

竹林で鴨の死骸を見付け、届け出た。
次回 2月27日(火) 中部公民館

以上

◆ 申し合わせ ◆

- * 通常活動日【木曜日】や屋外のイベントは、前日19時前のNHKの天気予報で、当該地域の午前の降水確率が60%以上の場合、中止とします。
- * 通常活動日が中止になった場合は、翌日【金曜日】を振替活動日とします。
奈良県北部の降水確率は、奈良気象台17時発表。
(<http://www.jma.go.jp/jp/yoho/335.html>)
- * 臨時活動日を月曜日にすることがあります。
(事前に担当役員から連絡します。)



◆ オリンピック

羽生選手が今大会初の「金メダル」を取りました。怪我や期待による大変な重圧の中で、存分に持てる力を発揮し素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。興奮冷めやらぬ今、原稿を書いています。

スポーツの世界に限らず、色々な分野で目標を目指し頑張っている人達があります。能力や努力が不足している場合もありますが、それ以外の理由で目的を達成出来なかった人達も大勢います。

「運・根・鈍」のことわざがあり、成功するためには、幸運と根気と、ねばり強さの三つが必要であるということです。

ならやまの活動も「鈍」に粘ってやって行きましょう。

(行々子)

会報誌[ネイチャーなら]・第194号

発行：奈良・人と自然の会
会長 鈴木末一

URL：<http://www.naranature.com>



編集チーム代表：坂東久平